

プラス1でつける活用力の育成

～単元における習得と活用の効果的な在り方～



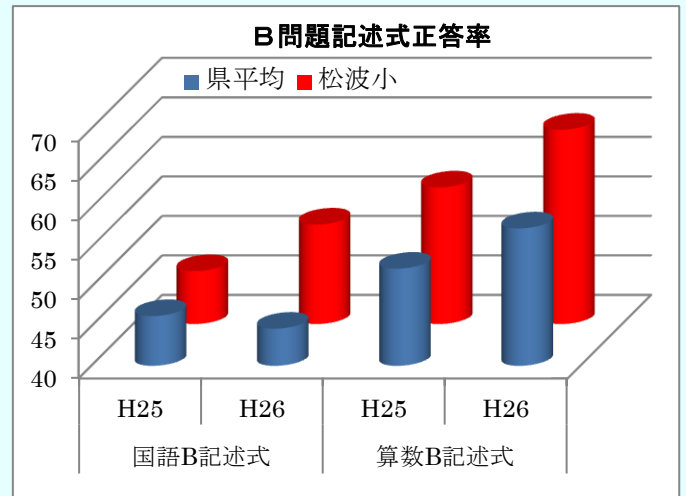
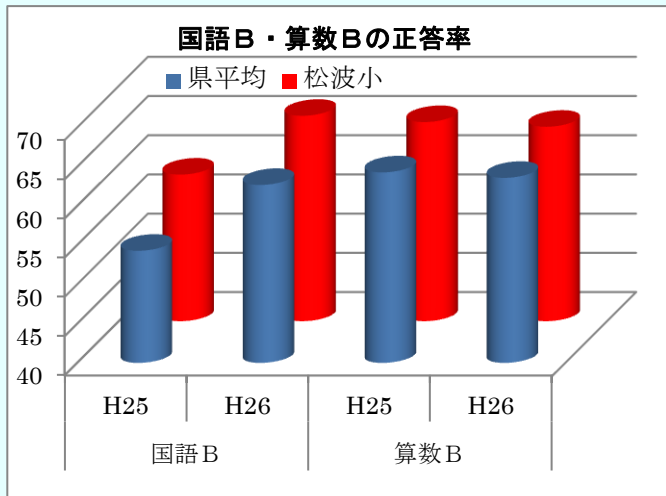
平成26年10月29日(水)
能登町立松波小学校

URL: <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~matsue/NC2/htdocs/>

研究の検証 ・ 成果と課題

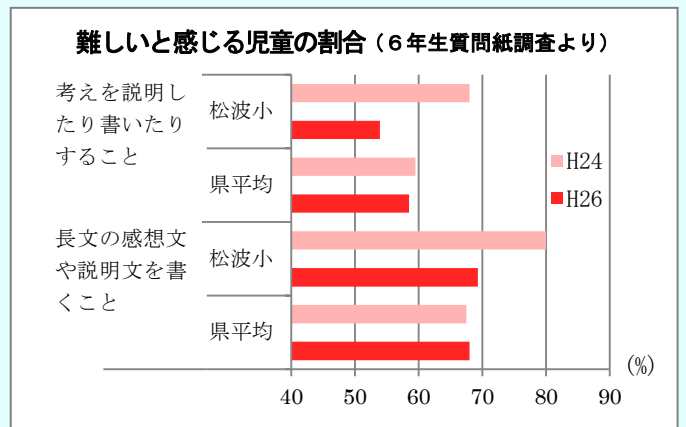
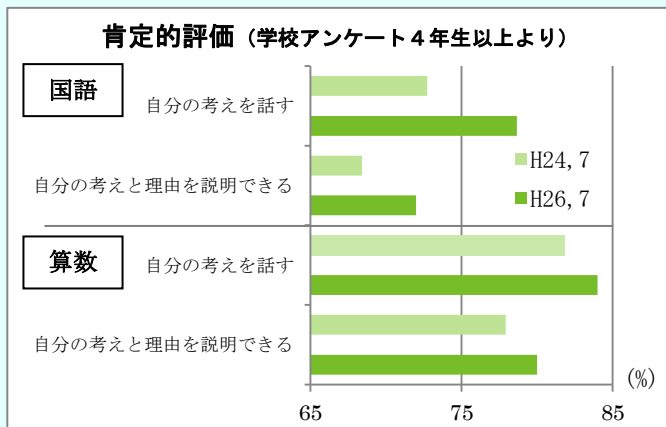
◆検証1 〈全国学力学習状況調査結果〉

・近年は安定した結果が出ている。特に平成26年度は記述式の結果が良好であった。



◆検証2 〈アンケート結果から ※平成24年度と平成26年度の比較〉

・児童は自分の考えを話したり、説明したり、書いたりすることができるようになってきたと感じている。



◆成果と課題



成果 「この単元で付けたい力は何だろう・・・。」と、教師全員が常に考えるようになりました。だからこそ、プラス1だけではなく、単元の他の授業も充実するようになってきました。

成果

友達の考えのよさを取り入れようとする姿が見られるようになってきました。根拠を示し、自分の言葉を付け加えて説明する場を大事にしてきたことは、活用力を伸ばす上で大きな意味があったと思います。



成果

国語でも算数でも、B問題の記述式問題で正答率が上がってきています。プラス1の授業づくりは大変でしたが、その成果ではないでしょうか。

課題

「再構築」へ向けて、児童自らがもっと「説明・交流」したくなるような授業を目指していきたいです。

課題

プラス1の授業実践を更に積み重ね、データベース化し、小中連携も視野に入れながら、地域の財産にしていきたいです。



活用力を更に高めるプラス1の授業へ